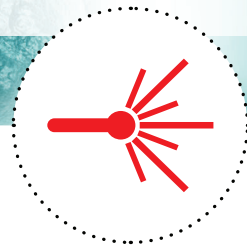


皮膚感作性評価を支える試験法h-CLATのガイド： 基礎から応用まで



日時 2025年 11月13日 [木] 13:30 ~ 14:30

演者 岡田 真幸 先生

テルモ株式会社 コーポレートR&D 評価センター

皮膚感作性は、化学物質、化粧品、医療機器など多種多様な製品の安全性評価において極めて重要な評価項目です。この評価は、これまではモルモットMaximization法やマウスLLNAのような動物を用いた試験法が主流でした。しかし、近年、動物福祉や国際的な動物実験の規制強化の流れを受け、*in vitro*や*in silico*による代替試験法が急速に普及してきました。足利（現 国衛研）や坂口（花王（株））らは、2006年に、ヒト由来の細胞株（THP-1細胞）を用いて感作性物質による細胞表面マーカー（CD86、CD54）の発現変化を評価するhuman Cell Line Activation Test（h-CLAT）に関する論文を発表しました。そして、この試験法は、2016年にはOECDテストガイドライン442Eとして収載されました。これにより、h-CLATは動物を用いた皮膚感作性試験の代替試験法として国際的標準試験法の一つとなりました。h-CLATは、化粧品や化学物質の評価だけでなく、現在では医療機器分野への適用も検討されています。従って、今後、この試験法は更に幅広い分野での活用が期待されます。

本セミナーでは、h-CLATが開発されるに至った背景、この試験法の原理、評価指標、実際のフローサイトメーターを用いた解析手順、データ解釈のポイント等々について、基礎から分かりやすく解説します。さらに、これからh-CLATの導入を考えている方、実務での運用に課題を感じている方に向けて、この試験法を導入する際における注意点やトラブルシューティング等についてもお話しします。また、医療機器への適用等の最新の情報についてもご紹介します。

視聴登録はこちら

<https://bit.ly/4nAHAE6>



Beckman CoulterおよびBeckman Coulterロゴは、Beckman Coulter, Inc.の登録商標です。